

鏡川流域パートナーシップだより No.285 R8.8.27



新エネルギー・環境政策課では、高知市の清潔なまちのシンボルである鏡川の美しい景観や自然環境を保全するため、鏡川流域の自然と人、人と人との関わりとつながり(鏡川流域パートナーシップ)の拡大を目指しています。「鏡川流域パートナーシップだより」では、鏡川流域パートナーシップ推進に向けたさまざまな取組を楽しく紹介します！

「川の生き物探検隊」が開催されました！

8月22日(土)、「鏡川環境保全の会」が主催する体験学習会「川の生き物探検隊」が開催され、高知市内の親子が参加しました。鏡川での水生生物採集や採集した生きものの学習会を行い、昼食会ではアユの塩焼きなどをいただきました。

河川底生生物調査をしている石川妙子さん、貝類、淡水魚に詳しい学生2名が水生生物についていろいろと教えてくれました！



① まずは、講師の方々に生きものを捕まえるコツを教してもらい、採集を開始しました。川に入ると、魚が泳いでいる様子が確認できました！しかし、簡単には捕まえられず、子どもたちから「難しい！」という声が聞こえました。



② 採集中、「この生きものの名前は？」「水生昆虫が棲んでいる場所はどこ？」など、子どもたちは積極的に講師の方々に質問していました。水生生物に興味関心を持ってもらうことができ、とても有意義な時間となりました！



③ 最初は苦戦していた子どもたちでしたが、講師の方々からアドバイスを受け、水生昆虫やエビ、魚など、様々な生きものを捕まえていました！バケツいっぱい魚を捕まえていた子どもには、会員さんも驚いていました^^



④ 採集後、各自が捕まえた水生生物を大きな水槽に移しました。水槽に移すことで、子どもたちがたくさんの水生生物を見つけられたことが一目でわかりました！また、鏡川には様々な水生生物がいることを実感します！



⑤ 学習会では、捕まえた水生生物の名前や生態、見分け方のほか、水生昆虫や貝類は顕微鏡で観察し、各水生生物の特徴を教してもらいました。魚類は、今回捕まえた7種について、イラストなどを使いながら説明してもらいました。面白い特徴や名前の由来を学ぶことができ、楽しい学習会となりました♪

また、高知市のスマホアプリ「Biome」を活用したイベント「鏡川流域いきもの図鑑をつくろう」に、写真を投稿してくれた親子もいました！

⑥ 採集した水生生物に関する問題を出してもらいながら、楽しく学ぶことができました♪



⑦ 昼食会では、高知県の郷土料理である田舎寿司や会員さんが2時間以上かけて丁寧に焼いたアユの塩焼きをいただきました。鏡川のアユは身が大きく、食べ応えがあり、とても美味しかったです！鏡川流域の食の恵みを味わうことができました^^

この日のような体験を通して、今まで以上に鏡川流域に棲む水生生物やその生息環境を大切にしてもらいたいです！



鏡川流域関係人口のつながりを可視化し、循環を促進するために、スマホアプリ「まちのコイン」を導入しました。高知市のコイン名称は「ぼっちり」です。鏡川がつなぐ山、川、海、人のたくさんの「ちょうどいい」関わりを未来へと繋いでいきたいという意味が込められています。ユーザー、スポット募集中です！

※「ぼっちり」の詳細については、こちらをご覧ください。

<http://cms4.city.kochi.kochi.jp/soshiki/186/machinocoin.html>

「まちのコイン」のインストール



iPhone



Android